

Q 新十津川のPRに新十津川物語の再放送を！！
A 実現に向けてNHKに要請する。



後木 幸里議員

人口減少抑制対策について

質問 人口減少は、本町だけの現象ではなく、近隣市町村はもとより、我が国においても人口減少の状況にある。減少を抑制すべく本年より定住促進事業、その他諸々施策を毎年実施中であるが、ついに7千人を切った。自然現象との見方もできるが、人口減少に歯止めをかける努力を続けなければならぬ。その対策に、まちの住みやすさを国内外にPRする活動、施策を行うことはどうか。インターネットや新聞、放送などマスコミを活用し、まちのPRをしてはどうか。その一つとして二十数年前にNHKで放送された「新十津川物語」の再放送について考えてみてはどうか。

か、町長の考えについて伺う。

町長 人口減少は質問の通り我が町ばかりでなく全国的な問題であり、人口減少を止めるいい特効薬がないのが現実である。

日本創成会議は2040年の本町人口を約4100人と試算しており、全国の自治体1700のうち900の自治体が消滅するという衝撃的な新聞報道があった。

本町の人口は、平成2年の国勢調査では8787人であったものが、先月末で6950人となり、この24年間で1837人、率にして21%減少している。

質問のNHKで放送されたドラマ「新十津川物語」の再放送によりまちのPRを行い、人口減少抑制策につながることはどうかであるが、この物語の原作は、児童文学作家故川村たかし先生が全10巻を十年余をかけ完成させた児童文学であり、明治の奈良県十津川村からの集団移住による開拓から始まり今日までを描いた歴史物語である。再放送が、本町の歴史的魅力の発信、

人口減少の歯止めになることを期待して、また、来年は放送から25年にあたり、歴史を顧みることができるとし、NHKに対し再放送について色々な形で要請活動を行い実現化に向けて取り組みたいと考えている。

再質問 再放送が実現したならば二十数年経過した中、世代が代わってきたことにより大きな反響が期待できる。昨日、議会で女性団体連絡協議会、子ども育成会と人口減少問題をテーマに車座トークを実施した折、新十津川のPRも必要、子育て環境の整備を、という声があった。子育て世代の転入が人口減少を食い止める明らな要素になると考えるが、町長の感想を聞きたい。

町長 新十津川のPRについては、行政報告の中にもあるように今年度PRキャラクターの作成など、多角的にPR活動に努めたい。また、子育て条件整備については、中学生までの医療費の無料化などいろいろな手法を実施している。

る。子供は非常に大事であることは十分理解した中で、今後検討できるものは検討していく必要がある。

人口減少を止める特効薬的なものはなく、できるものは今後も一つひとつ取り組んでいく必要があると考えているが、今のところ子育て支援策については、今後も継続していきたいと思っている。

新十津川物語とは

奈良県五条市出身の児童文学作家故川村たかしさんが10年余の歳月をかけ完成させた児童文学であり、第1巻「北へ行く旅人たち」に始まり最終巻「マンサクの花」で終わる長編大作である。

十津川村から移住した女性津田フキを中心に、娘、孫と続く女性3代の生きざまが描かれている。

この原作をNHKがドラマ化し、平成3年から4年にかけて全国放映された。